

# 2021年度 保護者説明会


キャリア就職ガイダンス  
「公務員をめざして」

# 公務員への就職

☞ 「就職のKAIT」として、民間、教育職、進学に加え、公務員試験対策の充実・強化を始めました。

まずは、学生に対する情報発信の必要性から、本学のホームページにある「KAIT Career」に基本的な内容を掲載しました。

具体的には、公務員とは、地方公務員の職種について、公務員の魅力・仕事のやりがい、公務員になるためのハードル、倍率（経年の変化）etc・・・です。

☞ バナー  「就職活動について」⇒「公務員関係の情報」

# 公務員への就職

- ☞ 次に、公務員対策の窓口（担当者）を明確にし、学生からの素朴な質問・疑問にも応えられる体制を整えました。  
申込書の書き方、小論文への対策、面接の想定Q&Aなど、現在の4年生に対する個別支援・指導もすでに実施しています。
- ☞ 今後は、年間を通じての切れ目のない公務員対策という課題に向け、学内の関係部署間の調整を速やかに進めてまいります。  
また、学生に実施したアンケート結果等をしっかり分析し、本学として学生目線に沿った公務員対策を講じてまいります。
- ☞ なお、例年実施している「公務員試験対策講座」についても、引き続き多くの学生の参加を促してまいります。

# 公務員への就職


☞ 「公務員」と聞くと、県庁や市役所の“事務職”をイメージする場合がありますが、機械、電気、化学といった“技術職”、あるいは看護師や管理栄養士といった“専門職”、もちろん、警察官や消防官も公務員です。

また、都営地下鉄、神奈川県内広域水道企業団、横浜市営バスといった、企業職員も地方公務員です。

☞ 特に、技術職や専門職は、本学での学び・専門分野を活かした職であり、倍率はそれほど高くありませんが、採用数が事務職に比べ少ない、年度によっては採用が無いという、不確定な要素があります。

☞ 職種ごとの試験倍率に着目してみると、技術職や専門職は、事務職に比べそれ程倍率が高いわけではありません。

職種	神奈川県				1次試験	職種	東京都（I類B）				1次試験	職種	静岡県			
	採用予定数	合格数	倍率	1次試験			採用予定数	合格数	倍率	1次試験			採用予定数	合格数	倍率	1次試験
機械	3人	3人	(3.0)	専門のみ	教養・専門	機械	22人	29人	(1.8)	教養・専門	機械	3人	3人	(2.7)	教養・専門	
電気	8人	6人	(1.8)			電気	17人	38人	(1.4)		電気	5人	5人	(1.6)		
環境技術	4人	6人	(4.0)			栄養士	13人	15人	(8.4)		工業化学	2人	2人	(4.5)		
行政(事務)	110人	217人	(3.2)	教養・専門	行政(事務)	ICT	10人	15人	(3.0)	警察(事務)	行政(事務)	71人	81人	(3.9)	警察(事務)	
警察(事務)	15人	21人	(5.1)			機械(警察)	2人	0人	-		警察(事務)	17人	21人	(2.9)		
						電気(警察)	11人	3人	(2.3)							
						行政(事務)	265人	352人	(4.6)							
						警察(事務)	60人	75人	(3.4)							

☞ には、この他の県の採用状況、倍率の推移、警察官や消防官の倍率なども掲載されています。

環境技術 予定数 合格数 倍率  
 4 6 × 4.0 = 24

1次試験の受験者数

- ※ 予定数より合格数が大きくなるのは、  
 ①民間や他の自治体との併願者、あるいは、  
 ②受験生の質の高さ、による調整結果

ると、技術職や専門職は、  
 ではありません。

職種	都 (I類B)				静岡県							
	採用予定数	合格数	倍率	1次試験	採用予定数	合格数	倍率	1次試験				
電気	8人	6人	(1.8)	専門のみ	電気	17人	38人	(1.4)	教養・専門			
環境技術	4人	6人	(4.0)		栄養士	13人	15人	(8.4)				
行政(事務)	110人	217人	(3.2)	教養・専門	ICT	10人	15人	(3.0)				
警察(事務)	15人	21人	(5.1)		機械(警察)	2人	0人	-				
				電気(警察)	11人	3人	(2.3)					
				行政(事務)	265人	352人	(4.6)					
				警察(事務)	60人	75人	(3.4)					
機械								機械		3人	3人	(2.7)
								電気		5人	5人	(1.6)
								工業化学		2人	2人	(4.5)
								行政(事務)	71人	81人	(3.9)	
								警察(事務)	17人	21人	(2.9)	



には、この他の県の採用状況、倍率の推移、警察官や  
 消防官の倍率なども掲載されています。

# 時代の変化を踏まえて

☞ 最近の公務員試験の見直し・変更点の傾向を紹介しますと、  
教養試験の出題範囲を縮小したり、出題数そのものを減らす、  
場合によっては教養試験そのものを廃止、あるいは代わりに  
SPI3や適性検査とする場合もあります。試験日程も市町村に  
よっては、夏以降に実施する場合も増えています。

☞ 民間企業への就職でも複数企業をリサーチすることと同様に、

技術職と事務職、民間と技術職、都道府県採用と市町村採用など、様々な併願パターンを検討しながら準備することが何よりも肝要です。お子様との会話の中で、何か疑問点等がありましたら、遠慮なく担当へお声がけください。

キャリア就職ガイダンス  
「公務員をめざして」

ご清聴ありがとうございました。